

民主化闘争情報

No. 947
2017年2月13日
発行 日本鉄道労働組合連合会
(JR連合)

JR東労組は、2月8日、「業務部速報 NO.72」を發し、「申14号 『格差ベア』を無くし、全組合員一律定額のベースアップを求める緊急申し入れ」を行ったとし、「平成29年度のベースアップの実施にあたっては、格差ベアではなく、『定額ベア』を実施する」ことを確認したことを明らかにした。JR東労組は、2月10日に「臨時大会」を開催しており、ストライキ権を確立したことは定かではないが（臨時大会を開催した以上、確立したと思われる）、臨時大会開催直前に成果を「引き出した」ことを強調するなど、スト権一票投票を行ってきた強気の姿勢はもはや腰砕けとなっている。

JR東労組 事実上の

「ストライキ権 非行使」宣言か？！

「賃金引き上げ要求」前の「定額ベア」確認??

(申14号)では、「第1項 ベースアップは、『格差』を付けずに一律定額とすること」とあり、会社回答(と思われる)では「平成29年度のベースアップの実施にあたっては、格差ベアではなく『定額ベア』を実施する」と記載されている。申し入れの日付は明らかにされていないが、そもそも中央委員会で春闘方針が決定される前であり、JR東労組は「賃金引き上げ要求」の申し入れを行っていない。要求もしていない「ベースアップ」の定額実施を確認したことに違和感を感じざるをえない。臨時大会に参加した、JR東労組組合員の皆さんはどのように感じているのか、聞いてみたいものだ。

格差ベアを巡る「労使間の紛争状態」はまだ継続している??

一方で、(申14号)では、「第2項 所定昇給額を算出した『格差ベア』は行わないこと。また、今後のベースアップについても、あらゆる『格差』を付けることなく、一律定額とすること」とあり、会社回答(と思われる)では「①所定昇給額を算出基礎にする可能性は否定できない。②『職責に応じた処遇』『わかりやすさ』『納得性』『公平性』の観点を踏まえてベアを実施するという考え方は残っている。③将来にわたって『定額ベア』を実施するとは確認できない。④ベアに関する『職責に応じた処遇』については労使の認識が対立している」と、平成29年度の「定額ベア」実施をも否定する内容となっている。これに対し、JR東労組は「労使間の紛争状態」が継続していると、「格差ベアに完全に終止符を打つまで12地本一体となつてたかおう!!」と威勢の良い言葉で組合員に訴えているものの、スト権に投票したJR東労組組合員は、果たしてこのような幕引きで納得するのだろうか。

良識あるJR東労組組合員の皆さん、

組合員不在の運動に見切りをつけませんか！